

令和7・8（2025-2026）年度複合構造委員会 第3回幹事会 議事録

日 時：令和7（2025）年9月10日（水）14:00～17:00

場 所：TKP熊本カンファレンスセンター、Web併用（Zoom）

出席者：大山委員長、北根副委員長、平幹事長、川端幹事、塩畠幹事、高橋幹事、内藤幹事、中田幹事、中原幹事、中村幹事、西村幹事、橋本幹事、藤林幹事、藤原幹事、皆田幹事、山本幹事、横田幹事
(敬称略)（下線：オンライン参加、取消線：欠席）

- 議 題：
1. 委員長挨拶
 2. 複合構造委員会第2回幹事会議事録(案)確認
 3. 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担
 4. メール審議事項の報告
 5. 令和7年度予算執行状況
 6. 令和7年度全国大会・年次学術講演会（共通セッション）
 7. 令和7年度全国大会・研究討論会
 8. 企画について
 9. 複合構造委員会HPについて
 10. 第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
 11. 土木学会論文集特集号（複合構造）
 12. 複合構造の継続教育
 13. 300年暴露プロジェクト
 14. 20周年記念式典
 15. 出版関係報告
 16. 小委員会報告・審議事項
 - H101 複合構造標準示方書小委員会
 - H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
 - H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
 - H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
 - H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
 - H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
 - H223 弹性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
 - H224 AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
 17. その他
 - ・親委員会（第2回以降）での報告・発表について
 - ・複合構造委員会規則、運営細則の改正（案）について
 - ・次回幹事会について
 18. 閉会挨拶

配布資料：

- 幹3-0 令和7・8年度複合構造委員会第3回幹事会議事次第
- 幹3-1 令和7・8年度複合構造委員会第2回幹事会議事録（案）
- 幹3-2 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹3-3 メール審議事項の報告
- 幹3-4 令和7年度委員会予算執行状況
- 幹3-5 令和7年度土木学会全国大会・年次学術講演会（共通セッション）
- 幹3-6 令和7年度土木学会全国大会・研究討論会
- 幹3-7 企画について（前回幹事会の「新規小委員会設立に向けて」の資料）
- 幹3-8 重点研究課題の募集について
- 幹3-9 複合構造委員会HPについて
- 幹3-10 第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（H001）
- 幹3-11 土木学会論文集特集号（複合構造）（H005）
- 幹3-12 複合構造の継続教育（H006）
- 幹3-13 300年暴露プロジェクト小委員会報告（H007）
- 幹3-14 20周年記念式典について（H008）
- 幹3-15 出版関連報告
- 幹3-16-1 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹3-16-2 H101 複合構造標準示方書 2024講習会_行事報告書
- 幹3-17-1 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹3-17-2 H109 通読結果とその対応
- 幹3-18 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- ~~幹3-19 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会~~（資料なし）
- ~~幹3-20 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会~~（資料なし）
- 幹3-21 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹3-22 H223 弹性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 幹3-23 H224 AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
- 幹3-24-1 その他の事項について
- 幹3-24-2 親委員会（第2回以降）での報告・発表について
- 幹3-24-3 鋼合成構造標準示方書維持管理編（改定案）意見照会
- 幹3-25 小委員会一覧

議事内容：

1. 委員長挨拶

- 幹事会の開催にあたり大山委員長より、開会の挨拶があった。

2. 複合構造委員会第2回幹事会議事録（案）確認（幹3-1）

- 中田幹事より、令和7・8年度 複合構造委員会 第2回幹事会の議事録（案）の説明があった。次の2点の誤記を修正することで、承認された。
 - 3. の2つ目で、「の修正することとなった」→「を修正することとなった」とする。
 - 10. で、「シリーズ03」→「シリーズ08」とする。

- ・議事録は、議事録担当（中田幹事）による修正→幹事長確認→HP 担当（内藤幹事）→複合構造委員会の Web サイトへアップすることとなった。
- ・議事録の公表は、今後もこの流れを基本とすることが確認された。

3. 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担（幹3-2）

- ・平幹事長より、令和7・8年度 複合構造委員会業務分担について説明があった。
- ・ISO 特別委員会（外部委員会）は、資料では平幹事が担当となっているが、大山委員長が担当することとなった。
- ・大山委員長の「土木学会論文集編集 委員会」は、すでに任期を終えており表から削除する。

4. メール審議事項の報告（幹3-3）

- ・平幹事長より、メール審議事項の報告があった。
- ・H007 で、ゴム支承協会から委員2名（今井委員、久慈委員）の追加を、幹事会後に複合構造委員会・委員へメール審議することとなった。
- ・ISO 関連について JCI から意見照会の依頼があり、複合構造委員会・委員へ依頼済みとの報告があった。

5. 令和7年度予算執行状況（幹3-4）

- ・平幹事長より、令和7年度予算執行状況の報告があった。
- ・H101 示方書小委員会の支出は、講習会行事の中で予算を計上・執行されたので、会議費（弁当代）等の支出はなかったとのことであった。
- ・第2回議事録にある研究討論会用の「動画編集ソフトの購入」はなかったとの報告があった。

6. 令和7年度全国大会・年次学術講演会（共通セッション）（幹3-5）

- ・平幹事長より、令和7年度全国大会・年次学術講演会（共通セッション）の説明があり、参加の呼びかけがあった。

7. 令和7年度全国大会・研究討論会（幹3-6）

- ・平幹事長より、令和7年度全国大会・研究討論会の報告があった。
- ・当日は、事前収録された映像が配信され、125名の参加であった。ほかの委員会主催の討論会ではリアル配信の実施も多かったとのことであった。
- ・再配信は行わないが、幹事会メンバに限定して希望者には動画ファイルをお渡しすることは可能であるので、希望者は幹事長へ連絡する。

8. 企画について（幹3-7、幹3-8）

(1) 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会（H103）の再開について

- ・藤林幹事より、説明があり、以下の議論があった。
- ・書籍は2012、2017年版が出ている。複合構造標準示方書の改訂に合わせて、書籍も2024年版に改定する趣旨で設立することとなり、今後、委員長を検討することとなった。大山委員長は、何らかの形でサポートすることとなった。
- ・委員会は再開として立ち上げるので、新規設立の承認は不要であることが確認された。

- ・活動期間は 2026 年度から 2 年程度とすることとなった。2026 年 6 月に委員の承認を得ることで進めることがとなった。まずは幹事長を決めて検討を開始することとなった。

(2) 複合構造標準示方書小委員会（H101）の継続について

- ・藤林幹事より、説明があった。
- ・平幹事長より、講習会の終了後、旧 H101 で、課題を集約したところであることが報告され、それに基づいて打合わせを行う予定とのことであった。
- ・示方書の活用、今後の委員会活動について、大山委員長、平幹事長、斎藤小委員会委員長、池田小委員幹事長で相談する予定であることであった。
- ・示方書の電子書籍の使い勝手について、気づきなどがあれば、幹事長へ連絡することとなった。
- ・複合構造委員会の Web サイトでは、2014 年制定版が紹介されているので、2024 年制定版に修正することになった。
- ・このほかに設立する小委員会などがあれば、藤林幹事へ連絡することとなった。

(3) 重点研究課題のテーマ募集

- ・平幹事長より、重点研究課題のテーマ募集について説明があり、応募の締切は 12/19 とのことであった。
- ・藤林幹事より、3 つのテーマの候補案が示され、以下の議論があった。
 - 募集要項によると、必須ではないかもしれないが、複数の委員会（分野）で実施することが要件となっていることが確認された。
 - 技術継承、若手の（研究者・技術者）育成などのテーマであれば、3 つの構造系委員会で横断的に検討できるのではないかとの意見があった。
 - 海外・日本の基準の比較、リユース・リサイクルの活性化（例えば、FRP 風車のブレードの橋梁の構造部材へ再利用等）を踏まえたテーマなども考えられる。
 - 材料のハイブリッドとして、木-FRP、木-鋼の組合せについて意見があった。「木」は化粧板的な印象があり、うまく複合化できるかなどの意見もあった。
 - 海外では、床版取替の事例はほとんどないため、設計・施工の対象は、新設が基本ではないかとの意見があった。
 - 現在進めている「構造工学委員会 カーボンニュートラルに向けた土木構造物のあり方に関する研究小委員会」は、1 年前以上から準備を行って、合同委員会を実現している。準備のための検討を少しずつ進めて、重点化してはどうかとの意見があった。
 - 重点研究課題が採択され、1 年間で終了してもよいが、その後も小委員会として発展的に続くテーマがよいのではないかという意見があった。
- ・今回の応募が難しい場合、来年度に応募できるように今から準備することも視野に入れることとなった。
- ・幹事長より、重点研究課題のテーマに取り組みたい方を、複合構造委員会へ公募することとなった。
- ・今年度の応募については、もう少し具体的に検討することとなり、応募に向けて努力することとなった。
- ・次回幹事会での検討を踏まえると、3 つの構造系委員会との調整は 11 月になると考えられる。

(4) 現場見学会の実施について

- ・藤林幹事より、現場見学会の実施について説明があった。
- ・見学先として、建設現場のほか、研究所の見学などもよいのではとの意見があがった。
- ・第 1 回の現場見学は、NEXCO 西日本の高槻高架橋西（新幹線との交差部）を候補として検討することとなった。

9. 複合構造委員会 HPについて（幹3-9）

- ・横田幹事より、複合構造委員会 HP の更新箇所について、報告があった。
- ・未更新の箇所は、今後、順次対応するとの報告があった。名簿の確認は、各委員会へ依頼する予定であるとのことであった。
- ・複合構造標準示方書に関する部分は、2024 制定版が発刊されたので、急ぎ修正することになった。説明文は、土木学会の書籍の紹介ページとすることが確認された。
- ・複合構造委員会の Web サイトで公表した議事録は、「(案)」が取れているかどうかを確認するとともに、取れていない場合、最終版を確認して「(案)」を削除する作業を進めることになった。

10. 第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（幹3-10）

- ・山本幹事より、第 16 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて、説明があった。
- ・藤林委員より、実行 WG に関する説明があり、パネルディスカッション (PD) を土木 2 件、建築 2 件で検討していること、土木では、示方書関連のテーマで調整したいとのことであった。
- ・PD の司会は、土木、建築でそれぞれ 1 名とし、土木側は、北根副委員長に依頼することになった。
- ・PD のパネリストは、高橋幹事、西田小委員会委員（京橋ブリッジ）へ依頼することになった。10/24 締切で、PD の原稿（6 ページ程度）を依頼することになった。
- ・山本幹事より、建築側の実行委員会へ打診して依頼状等を出していただくほか、双方での事前の調整などを行うことになった。

11 土木学会論文集特集号（複合構造）（幹3-11）

- ・大山委員長より、土木学会論文集特集号（複合構造）の説明があり、第 1 回編集小委員会の報告があった。
- ・J-stage 掲載費が赤字になっているとの報告があり、ページ数にかかわらず掲載料を税込み 38,500 円としたいとの提案があった。土木学会論文集（通常号、4 万円（7-8 ページ）、従量制）よりも若干安いとのことであった。値上げについては了承された。
- ・掲載料は、若干安くてもあまり変わらないと思われる所以、通常号と合わせてもよいのではないかとの意見があった。
- ・土木学会側で赤字となっているが、赤字がどのような取り扱いとなるのかを土木学会事務局へ確認することになった。
- ・展望論文（1 件）は内諾済みであること、H101, H109, H220 へ小委員会報告を打診予定のことであった。

12. 複合構造の継続教育（幹3-12）

- ・皆田幹事より、複合構造の継続教育について、報告があった。
- ・10/14 の第 9 回若手技術者のための複合構造セミナーの準備状況について、報告があった。オンライン参加者数の上限を 200 から 300 へ上げることになった。
- ・幹事長より、10/14 の開催案内について、複合構造委員会・委員へ展開することになった。
- ・2/10 の H111 講習会は、プログラム等を検討中であることが報告され、参加者数の上限は、会場 60 + オンライン 500 とすることになった。

13. 300年暴露プロジェクト（幹3-13）

- ・平幹事長より、300 年暴露プロジェクトの報告があった。

- ・体制（名簿）の中で、久保委員はFRPに変更する。
- ・各分野での進捗の報告があった。

14. 20周年記念式典（幹3-14）

- ・皆田幹事より、20周年記念式典の報告があった。
- ・開催案内は、歴代の顧問・旧委員の方へも送付することとなった。
- ・行事参加の申込締切（11/13）に合わせて、11/13に小委員会を開催して、冊子の印刷部数を確定する予定とのことであった。
- ・参加者数の上限は会場60+オンライン100とすること、CPDは2.5（申請済み）であること、領収書の関係で募集は3つ（記念式典対面、オンライン、祝賀会）に分けて行うこととなった。
- ・記念誌の執筆状況について報告があった。ほぼ作成済みで一部で遅れがあるとのことであった。適宜、催促を行うこととなった。
- ・表紙のデザインは検討中で、写真を多数配置する案、手書き案の意見があった。
- ・式典、祝賀会のプログラム案が示された。幹事は、対面参加の場合、対面で申込むことが確認された。
- ・PDのパネリスト等との事前打合せは、次回小委員会に合わせて、11/13の開催で調整することとなった。

15. 出版関係報告（幹3-15）

- ・中田幹事より、出版関係の報告があった。
- ・示方書は、現時点で217部（117部：講習会等、100部：丸善出版）の販売実績とのことであった。

16. 小委員会報告・審議事項（幹3-16-1、幹3-16-2、幹3-17-1、幹3-17-2、幹3-18、幹3-21、幹3-22、幹3-23）

(1) H101：複合構造標準示方書小委員会（幹3-16-1、幹3-16-2）

- ・平幹事長より、講習会の開催について報告があった。
- ・8/4開催の講習会では、対面36名+オンライン72名の参加であったとのことであった。
- ・行事報告書より、約30万円の黒字であったとのことであった。
- ・現在、質問への回答を確認中とのことであった。
- ・講習会の報告は、「橋梁と基礎」のほか、他の雑誌へも掲載する予定とのことであった。
- ・次期委員会の発足については、改めて相談することであった。

(2) H109：複合構造技術の発展に関する調査小委員会（幹3-17-1、幹3-17-2）

- ・平幹事長より、報告があった。
- ・通読の修正意見とその対応状況について報告があり、修正意見のとおり修正されたとのことであった。
- ・会告は11月号に掲載され、講習会は12/4に開催する予定とのことであった。
- ・開会挨拶は、オンラインとなることであった。
- ・報告書の印刷はカラーなしとし、付属のCD-ROMでカラー対応とするとのことであった。
- ・行事計画書の報告があり、書籍費は約5000円、参加費は7000円（会員）となり、若干高くなるとのことであった。

(3) H111：カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（幹3-18）

- ・川端幹事より、進捗状況の報告があった。
- ・2/10 の講習会は、12月会告（10/10 原稿提出）へ掲載することで検討中とのことであった。
- ・小委員会の幹事会を9/18に開催、WGは10月頃、次回委員会は10~11月で調整中とのことであった。

(4) H220 : グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（資料なし）

- ・川端幹事より、進捗状況の報告があった。
- ・委員会報告書は、本日（9/10）に発売とのことであった。
- ・講習会の参加数の上限は500→1000としたが、現時点では920の応募があったとのことであった。
- ・Zoomウェビナーの参加者数は1000まで5万円、3000までで15万円のため、費用対効果を考慮して、1000のまととすることになった。
- ・書籍の印刷部数は300部であるため、不足する場合、増刷を検討することになった。書籍の購入希望が300を超えそうであれば増刷する。増刷に2週間かかるため、9/24の申込状況で判断することになった。

(5) H221 : 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（資料なし）

- ・橋本幹事より、活動の進捗状況の報告があった。
- ・報告書は執筆中であること、講習会は年度内の開催予定とのことであった。

(6) H222 : 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹3-21）

- ・中田幹事より、活動の進捗状況の報告があった。
- ・期間延長について、期間を改めて確認することになった。
- ・次回委員会は、10/30に開催予定とのことであった。

(7) H223 : 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（幹3-22）

- ・山本幹事より、活動の進捗状況の報告があった。
- ・次回委員会は、10/7に開催予定のこと、次回以降でWG活動を検討中とのことであった。

(8) H224: AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会（幹3-23）

- ・内藤幹事より、小委員会の準備状況の報告があった。
- ・9月号に会告が掲載され、現在8名の申し込みがあったとのことであった。
- ・AI・データサイエンス論文集編集委員会より、連携委員会として協力の依頼があった。展望論文の依頼を引き受けたとのことであった。
- ・幹事長より、複合構造委員会・委員へ、募集要項のWebサイトを展開することになった。

17. その他（幹3-24-1, 幹3-24-2, 幹3-24-3, 幹3-25）

- ・平幹事長より、他の事項として、下記について報告があった。

(1) 親委員会（第2回以降）での報告・発表について（幹3-24-2）

- ・親委員会での報告・発表のプログラム（進行）を今後検討するとのことであった。

(2) 鋼合成構造標準示方書維持管理編（改定案）意見照会（幹3-24-3）

- ・8/5に、鋼構造委員会担当者に回答・示方書への質問を送付したことであった。

(3) 複合構造委員会小委員会一覧（幹3-25）

- 複合構造委員会小委員会一覧を委員会の進捗に合わせて更新しているとのことであった。気づき、修正などがあれば、幹事長へ連絡することとなった。

(4) 外部への公表について

- Webサイトをうまく使うと、土木学会のトップページの新着ニュースに反映されることであった。
- 各行事などを公表する場合に活用するとよいと思われる所以、その方法等を確認することとなった。

(5) 次回（第4回）幹事会について（幹3-24-1）

- 次回の幹事会は、以下の通り開催することであった。

日程：2025年10月27日（月）14:00～17:00

場所：大阪工業大学 大宮キャンパス ※教室などの詳細は別途連絡予定

18. 閉会挨拶

- 北根副委員長より、開会の挨拶があった。

以上

（記録：中村一史）